

# 第9回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会

## 文部科学大臣賞 テクノロジー部門大賞



村田 健太さん

大分大学大学院で研究  
しながら、湯布院厚生年  
金病院で作業療法士とし  
ンケアセンター湯布院と

### 後付け式車いす用安全ストッパーによる転倒予防支援ビジネス

大分大学大学院で研究  
しながら、湯布院厚生年  
金病院で作業療法士とし  
ンケアセンター湯布院と  
て働いています。同病院  
は先進リハビリテーショ  
ンケアセンター湯布院と  
して先進のリハビリを取  
り入れ、患者の転倒予防  
に「ころばん隊(転倒予  
防チーム)」として取り  
組んでいます。  
大分大学の今戸啓二教  
授と共同研究を行い、  
「モノづくりの視点から  
自動ブレーキ車いすの開  
発を行ってきました。こ  
の経緯から同じ大分大学  
の清原健太くん、大福哲史  
くん、後付け式車いすの  
用安全ストッパー」を考  
案しました。  
医療・福祉の現場では  
患者の不意の転倒(事  
故)があります。認知症

## 経済産業大臣賞 ビジネス部門大賞



宇井 吉美さん

千葉工業大学  
エン지니어リングを学  
んできた私たち a b a  
が、まさか大賞をいただ  
けるとは思わず、信じら  
れずにいます。  
a b a は千葉工業大学

### 未来の介護をデザインする排泄検知シート「i firm」

この、介護機器メーカ  
と共同開発を行おうとし  
ました。メーカとの交  
渉が始まるうとした矢  
先、東日本大震災が発生  
し共同開発計画の話がな  
くなってしまいました。  
大学に残っても論文を  
書くことができなかった  
ため、ビジネスコンテ  
ストに出る中で自分たち  
の製品の事業性や起業へ  
の可能性を探っていきま  
した。この結果、自分た  
ちで製品を出すことを決  
め、具体的なビジネスモ  
デルや資金調達などを行  
ってきました。  
まさに手探りの中で製  
品開発を進めてきたしま  
が、今後はこれまで以上  
に介護業界と密接な関係  
を築き、本当の意味で未  
来の介護をデザインでき  
るよう、精いっぱい尽力  
したいと思っています。  
プラン概要 おむつを  
履く高齢者の排泄リズム  
をつかむことで、排泄予  
定時刻に交換またはトイレ  
への誘導が可能になる  
。排泄検知シートは真  
いで検知するためベッド  
の上に設置するだけ。取  
得した排泄情報は集計・  
解析し、健康管理にも役  
立てる。

日刊工業新聞社は3月7日、東京・霞ヶ関の東海大学校友会館で「第9回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会」を開催した。CVGは全国8エリアで開催され、各エリア大会のグランプリ・準グランプリの受賞者15組が全国大会でプランを競った。テクノロジーとビジネス部門に分かれ、1組10分間のプレゼンテーションを行い、審査員にプランの優位性、実現性などの熱意を伝えた。応募総数878件の中から、経済産業大臣賞ビジネス部門大賞に千葉工業大学の宇井吉美さん、文部科学大臣賞テクノロジー部門大賞に大分大学大学院の村田健太さんが選ばれた。

## 講評



審査委員長  
各務 茂夫氏

## 「光る原石、価値基準に

9回目となる今回の全国大会も、まさに激戦でし  
た。八つの地区から選抜さ  
れた15チームはどれも甲乙  
つけがたく、プランを発表  
した学生の皆さんの「社会  
をより素晴らしいものに  
変えたい」という企業家精神  
と「独創性」「革新性」  
に満ち、荒削りの原石があ  
ったとしても光る原石があ  
った。社会的課題の問題解決  
に向けた事業の理念・ミッ  
ションが強く打ち出されて  
いる。③「プラン机上の計画」  
に留まらず、自らが主体と  
なってビジネスを実行する  
意思・意欲がある④テクノ  
ロジー部門は、単に開発し  
た技術の詳述に留まらず、  
当該技術をビジネスとして  
収益化に結び付けるか明示  
されている⑤ソーシャルベ  
ンチャーは、市場規模は小  
さくても社会的意義が大き  
く、かつ事業としての持続  
可能性を有する⑥人をはひ  
きつけ、自らの強い思いを明  
確に伝えるコミュニケーション  
力を有している。  
CVGは全国的な学生ビ  
ジネスプランコンテストと  
して学生の起業家魂に火を  
付け、まさに若き起業家の  
登壇です。次回は記念す  
べき10回目。期待は高まり  
ます。

〈後援〉 内閣府、経済産業省、文部科学省、日本経済団体連合会、日本商工会議所、国立高等専門学校機構

## 特別賞 日刊工業新聞社賞



飯尾 歩美さん  
飯尾 奈々さん



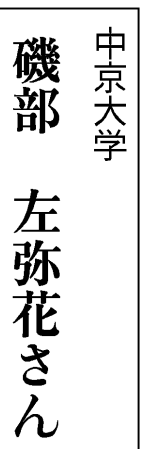
飯尾奈々さん(左)と歩美さん

新居浜工業高等学校  
飯尾奈々さん(左)と歩美さん  
の、履き心地がよい、足  
の疲れを軽減する、左右  
のサイズ、日々の履き具  
合が異なるリンパ浮腫  
患者向けに靴を提案  
靴の本体と踵部分を織  
維強化スライダで  
つなぎ、スライダを  
することでサイズの  
変化が可能。ペロを移動  
させ、甲の高さも調整  
できる。

## リンパ浮腫患者用 サイズ変形可能靴

提案した靴の商品化  
に一つ近づき、感激し  
ております。表彰式で  
名前を呼ばれ、びっく  
りしたと同時に、こ  
もつれがたつたです。  
支えてくれた先生  
や家族のおかげで、こ  
の賞を受賞でき、本  
に感謝しています。  
現在、リンパ浮腫と  
いう病気がかかっている  
患者は日本に約150万  
人いると言われ、老人  
ホームで働く母から  
「患者さんの足の大き  
さが左右で違つたので  
家族は靴選びが大変で  
困っている」と聞き  
、つま先になりた  
いと思つたのが、プラン  
提案のきっかけです。  
サイズ変形可能靴を  
考えたときに苦労した  
のは、いかに靴  
のサイズを足の  
甲の腫れに対応  
させるかです。  
伸縮性のある生  
地の採用など試  
行錯誤し、靴の  
つま先の生地を  
分断し、ペロを  
前後させやすく  
することで足に  
フィットできる  
プラン概要 足腫  
れ、左右の  
サイズ、日々  
の履き具合が  
異なるリンパ  
浮腫患者向け  
に靴を提案  
靴の本体と踵  
部分を繊維強  
化スライダで  
つなぎ、スライ  
ダをすることで  
サイズの変化  
が可能。ペロを  
移動させ、甲  
の高さも調整  
できる。

## 特別賞 MIT賞



中京大学  
磯部 左弥花さん



プラン概要 筆の動き  
の「運筆」リズムを  
意識することが習字上  
達への鍵になる。スマ  
ートフォン、タブレット  
端末(携帯型情報端  
末)向けのペン習字ア  
プリを提案。運筆リス  
ムを視覚で把握できる  
よう手本文字の太さで  
表現するなど工夫し  
た。

## 運筆リズムにより短時間での上達 を可能とするペン習字アプリ

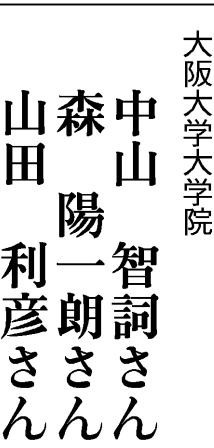
大学3年生になると  
就職活動を意識するよ  
うになります。履歴書  
やエントリーシートは  
手書きのものが多く、  
友人から字がうまくな  
らないという声を聞く  
ようになり、私  
は書道を13年間習っ  
ており、この経験を生か  
して手助けができない  
かと考えました。  
字を上達させるため  
には時間をかけた練習  
が必要ですが、まとま  
った時間を取るのは困  
難です。そこで、急速  
に普及しているスマー  
トフォン(多機能携帯  
電話)のアプリを使  
いに至りました。この  
ビジネスプランが高く  
評価されたことをうれ  
しく思います。  
今回の応募をきつ  
けに、企画書作成から  
プレゼンのスキルま  
で、多くを学びまし  
た。受賞は私だけでは  
決して成し得られず、  
周りの方々による支援  
のたまものであると強  
く実感しています。

## 審査委員会

審査委員長  
各務 茂夫氏 東京大学産学連携本部教授  
委員  
石井 芳明氏 経済産業省経済産業政策局新規産業室新規事業  
調整官  
寺崎 智弘氏 文部科学省科学技術・学術政策局産業連携地域  
支援課課長補佐

## 審査委員会特別賞

## 内視鏡医療の新しいカタチ、レーザーを用いた新・ドラッグデリバリーシステム



中山 智詞さん  
森陽一朗さん  
山田 利彦さん

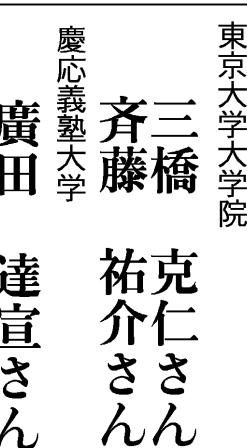


左から森陽一朗さん、中山智詞さん、山田利彦さん

大阪大学大学院  
中山 智詞さん  
森陽一朗さん  
山田 利彦さん  
「がん」と宣告され  
たとき、どのような治  
療を受けたか。この  
問いかけがプランの  
出発点でした。近年  
がんに対する効果的  
な治療法が確立され  
ていますが、現状の治  
療法は大きな負担を  
伴うことがあります。抗  
がん剤の投与は血液経  
路で行うため、大きな  
副作用を伴うことが  
あります。そこで、レ  
ーザーを用いた、がん  
の病変に直接投与する  
方法を提案しました。私  
たちは、がん治療の  
薬を、がん細胞に直接  
投与する「ドラッグデ  
リバリーシステム」を  
開発しました。がん  
治療に活用するこ  
とです。医療分野で  
の実績はありますが、  
技術応用に向け、調  
査、議論を重ねてき  
ました。

このアイデアと取り  
組みを評価していただ  
き、大変感謝していま  
す。実用化へのハード  
ルの高さは自覚してい  
ますが、この技術の実  
現で社会が変わるので  
あれば難度にかかわ  
らず取り組むのが技術  
者、研究者のあるべき  
姿だと考えています。  
森陽一朗さん、安達宏  
昭先生、研究室の皆さ  
ん、そして医療の観点  
から助言をいただいた  
内科の先生に感謝いた  
します。

## 特別賞 産業人クラブ賞



三橋 克仁さん  
齊藤 祐介さん  
慶応義塾大学  
廣田 達宣さん



東京大学大学院  
三橋 克仁さん  
齊藤 祐介さん  
廣田 達宣さん  
manaboという方向  
の授業を補完する双  
方向の学習プラ  
ットフォームを  
構築しました。  
プラン概要 ユーザ  
である学生は質問内  
容を撮影しスマー  
トフォン(多機能携帯電  
話)などからmanaboに送信する  
と、教える側のユー  
ザーに届く。指導でき  
る判断したユーザ  
の中からコーラーが  
指名し、指導料を支  
払うシステム。

## オンタイム学習プラット フォームmanabo

優れたプランの中  
からこのような賞を受  
賞しました。  
実績があるわけでも  
なく、会社と呼ぶのも  
はばかれますが、manabo  
と呼ばれる教育と  
テクノロジーのクロス  
ドメインで、アジアナ  
ンバーワンといわれ  
る規模まで会社を大き  
くしていきたいです。  
できるだけ早く海外  
展開を目指し、manaboを世界に  
通じるウェブサービスの成  
功事例として取り上げ  
られるようにしてい  
きたいです。

西尾 昇治氏 東京商工会議所中小企業部部長  
南 努氏 元大阪府立産業技術総合研究所所長、前大阪府立  
大学学長  
近藤 邦治氏 企業支援ネット評議員  
上野 祐子氏 上野流通戦略研究所社長  
川原 洋氏 日本MITエンタープライズ・フォーラム理事長